

令和7年度 いばらLMOまちづくり委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ 設立後間もないため、地域での認知度を高めた。
・ 運営助成金を有効活用し、地域活性化を図るため新規事業を開拓した。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	草刈り	(10) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年1月31日	
(2) 実施場所	溪鎮左岸・熊崎左岸・熊崎右岸	
(3) 参加者数	164 人（見込み）18名×3地域×3回	
(4) 主催団体	団体名 井原地区町内会自治会連絡協議会	
4 取組内容	三篠川沿いの地域の景観・美化を守り、また鳥獣が住み着かないよう、地域住民の協力のもと、土手の草刈りを草刈り機で行った。その際、安全対策として保険に加入し、実際の草刈り現場での安全意識も高まるように、注意事項等を伝えてから行った。 （期間中、3地域、年間9回実施）	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 ・ 三篠川沿いの景観（桜並木）美化を維持し、ゴミ・カンなどのポイ捨ての軽減を図る。 ・ 農作物の被害を軽減するための対策として、鳥獣が住み着く場所の草むらを減らす。 ・ 草刈り実施中に、怪我や飛び石などによる車両損傷などの対策のため「自治会活動保険」に加入し、安心して活動できる環境を整備する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・ 川沿いの景観が守られることにより、散歩をする住民や他地域からのハイキングなどを行う方が増え、健康増進や来訪者の増加にもつながり、ゴミのポイ捨てが減った。 ・ 草刈りを行ったことで、鳥獣の住処が減少し、農作物被害の軽減につながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	地域防犯活動	(10) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月15日 ~ 令和8年3月15日	
(2) 実施場所	井原学区内	
(3) 参加者数	6 人	
(4) 主催団体	団体名 井原学区防犯組合	
4 取組内容		
地域住民を空き巣や詐欺などの犯罪から守り、防犯対策に関する注意喚起のため、井原学区内の広報巡視活動を毎月一回、拡声器を付けた自動車3台で行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 広報巡視活動を通じて、地域住民の安全と資産を守り、防犯に対する注意喚起を促す。		
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 定期的に防犯に対する注意喚起を実施することで、空き巣被害や詐欺被害などへの注意意識が生まれ、誰もが住みやすく、安全・安心なまちづくりにつながった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	小学生対象の交通安全教室	(10) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(10) 地域の交通安全に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月23日	
(2) 実施場所	井原小学校グラウンド	
(3) 参加者数	24 人	
(4) 主催団体	団体名 安佐北区交通安全協会井原支部	
4 取組内容	井原小学校の児童を対象とした交通安全教室を開催する。安佐北署・安佐北交通安全協会の協力の下、児童に対し横断歩道の渡り方、踏切の渡り方、自転車の交通違反事例、正しい乗り方などについて指導をした。 同時に、朝の通学時に通学路の自動車のスピードダウンを促す目的で、通学路などに交通安全関連の幟の数を増やし注意喚起をした。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	通学路を通行する自動車のスピードが速く危険性があることから、通学時及び下校後の歩行・自転車での通行時の運転マナーを教えることを目的として実施。また、学童の通学路において、安全・交通事故を防ぐ無事故啓発活動及び監視活動をした。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	小学生が交通安全教室を通じて、通学時などに危険予知・安全に気を付けるようになり、交通に関するルール等を学ぶことができた。また、通学路における幟旗の掲示枚数を増やすことにより、通行のドライバーに「交通安全」をアピールし、スピード抑制と交通安全の認識につながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	荒谷山整備事業	(10) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	荒谷山	
(3) 参加者数	20 人	
(4) 主催団体	団体名 井原わくわくプロジェクト	
4 取組内容	井原にある標高 620m の荒谷山は、山頂付近にハンググライダーやパラグライダーの飛び立つスタート台があり、そこから霧の海の絶景「雲海」が見られる。山道は細いが自動車で頂上まで登ることができるものの、山道には倒木もあり、倒木を取り除くなどの整備が必要である。また、頂上には仮設トイレがあり、トイレの掃除等も定期的に行い、汲み取りも業者に依頼している。こうしたことを踏まえ、荒谷山の観光地化の推進と整備に取り組んだ。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	荒谷山では、朝日が昇り夜が明けていく大自然の美しさを感じることができるとともに、絶景の「雲海」も見られる。地域内外を問わず、多くの人にこの魅力を体感してもらうことを目的として、山道や山頂、トイレ等の整備を行う。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	荒谷山の整備に取り組むことで、より多くの人々が荒谷山を訪れ、大自然に触れることで井原の良さに触れ、井原の知名度の向上や地域の活性化につながった。また、地域団体と連携しながら取組を進めることで、団体間の連携を深めることが期待できた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	ミュージックフェスティバル IN やまこうばし	(10) 事業中(5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月21日	
(2) 実施場所	やまこうばし広場	
(3) 参加者数	210 人	
(4) 主催団体	団体名 いばら LMO まちづくり委員会	
4 取組内容	ミュージックフェスティバルの開催を通じて、若い世代の発表の場を作ることで、地域の活性化や、やまこうばし広場の知名度をアップさせる。 また、いばら LMO 初の主催者事業として本事業を実施することを契機に、やまこうばし広場を利用した新しいイベントを企画・運営し、やまこうばし広場の更なる利用促進を図った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	若いミュージシャンの発掘と発表の場にするとともに、地元産業やグルメなどのブースを設けることで井原の魅力を発信するイベントとすることにより、地域の活性化やにぎわいの創出を図る。また、現状として、やまこうばし広場におけるメインイベントはさくら祭りのみであるため、広場を有効活用することができる。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	若い世代が参加することにより、井原への愛着を深めるとともに、井原の魅力を感じてもらうことができ、地域内における交流や幅広い世代の方が交流する場となることができた。また、有効活用されていなかったやまこうばし広場の運営を拡大化したことで、広場の新しい使い方を広く周知することができ、今後の地域住民による利活用が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	第4回 いばら桜まつり	(10)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年3月29日	
(2) 実施場所	井原やまこうばし広場	
(3) 参加者数	450 人	
(4) 主催団体	団体名 さくらまつり実行委員会	
4 取組内容	毎年恒例行事として地域に定着している行事で、井原学区の各種地域団体や企業等が連携して開催しており、地域住民と他地域の方との触れ合いの場であり、また幅広い年齢層の触れ合いの場にもなっている。会場内ではステージや飲食の出し物など、地元だけでなく近隣地区からの参加も募り、地域密着型のイベントを目指して4月上旬に実施した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	いばらの桜並木と自然の美しさ、やまこうばし広場の特性を生かした地域住民の触れ合いと地域の活性化の場として、井原学区の各種団体、企業等が連携して実施する様々なプログラムや地元農園がフード販売を行い、地域内の団体間の連携強化や多世代交流の促進を図るとともに、地域内外の様々な方に参加してもらうことで、地区の活性化を図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	桜並木と桜まつりのアピールにより、地域外からの観光客（花見客）が増え、にぎわいが創出でき、地域活性化につながった。また、地元農園などのフード販売を行うことで、地産商品のアピールにもなった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	敬老祝賀会	(10) 事業中(7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月28日	
(2) 実施場所	井原小学校体育館	
(3) 参加者数	150 人	
(4) 主催団体	団体名 井原地区社会福祉協議会	
4 取組内容		
敬老祝賀会については、長寿を祈念して行われる事業として、井原地区社会福祉協議会の最大のイベントである。井原地区内の75歳以上である約300名に対して、祝賀会の案内を出して開催し、祝賀会の準備と片づけは井原地区内の各団体に協力を仰いで行う。また、祝賀会の出し物は、井原地区内を中心に募集し、舞台上で披露した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 井原地区の高齢化率も高まっているという背景から、敬老祝賀会の開催は、出席者にとって、年に一度の再会や交流の場として楽しみにされており、外出機会の創出にも寄与している。また、舞台出演者は井原小学校児童や若い世代も多く、多世代が交流する場となっている。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 高齢者が若い世代と交流することにより、健康年齢を引き上げることにもつながった。また、行事を通して、故郷井原の人やモノの良さを再確認してもらうことで、出し物を行う若い世代の井原への定住意思の向上につながった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	いばら夏まつり	(10) 事業中(8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月13日	
(2) 実施場所	三篠園	
(3) 参加者数	450 人	
(4) 主催団体	団体名 井原地区青少年健全育成連絡協議会 (協力：三篠会・井原地区町内会自治会連絡協議会)	
4 取組内容		
「いばら夏まつり」を開催し、子供と地域の人とが触れ合い親睦を深める。ステージでは、子供達による太鼓の披露や地域の人によるフラダンス、ピアノの弾き語り等を行ったり、井原の様子を詩にして口説きそれに合わせて踊る盆踊り（会場の人全員参加）を行った。また、会場では、各団体が出店する屋台で飲食やゲーム、遊び等があり、人々が触れ合う機会も多くある。今年度から三篠会と一緒に行うことで、より多くの人々の触れ合い交流を図った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 この夏まつりは、20年以上続いているが、ここ井原でも少子高齢化が進み、地域ぐるみで触れ合う機会が減ってきている実態がある。こうした中、地域の子供たちと地域の人とが触れ合う機会をつくり、故郷の良さと夏まつりの楽しさを知り、地域ぐるみで親睦を深める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域ぐるみで触れ合う機会である夏まつりを地域の企業・団体と合同で実施することで、より多くの人とふれあい交流し、親睦が深まり、地域の発展に寄与することができた。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	井原運動会	(10) 事業中(9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月19日	
(2) 実施場所	井原小学校グラウンド	
(3) 参加者数	150 人	
(4) 主催団体	団体名 井原学区体育協会	
4 取組内容		
井原運動会は、地域にとって大切な行事であり、昨年度から井原小学校と合同で行っている。今年度も、健康増進のために、老若男女の地域住民がたくさん集い、触れ合い、大いに盛り上った。運動会の開催に当たっては、井原学区にある4つの各支部や本部において、より多くの人が集い参加してもらうための仕掛け（参加賞等）について検討した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 地域においてスポーツに参加する機会を設け、地域住民の健康増進、親睦及び融和を深めることを目的として、井原運動会を開催する。また、少子高齢化が進んでいるため、コミュニティ機能を高め、住民が助け合う共助の意識も高める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 井原運動会を開催することで、老若男女の地域住民が集い、健康増進、親睦及び融和を深め、コミュニティ機能が高まり、共助の意識も高まった。加えて、多くの住民が集い、参加や応援を通じて、スポーツの楽しさも感じ健康増進にもつながった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	井原探訪（鍋谷城ウォーキングラリー）	(10) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	白木町井原鍋谷城跡など	
(3) 参加者数	70 人	
(4) 主催団体	団体名 井原郷土史研究会	
4 取組内容	井原地区の史跡である鍋谷城の歴史や出来た背景など、郷土史会の立場から広く周知するため、誰でも参加できる見学会を開催するとともに、鍋谷城跡の見学者が増えるよう、見学に行きやすい環境を整えるための登山道を整備した。 また、こうした見学会を充実したものとするため、他都市の文化施設・史跡への訪問や研修会を通じて、井原地区の史跡などの保存方法などを学んだ。 さらに、井原の歴史や史跡を後世に伝えるため、郷土史会の会誌を製作し、広く配布した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	ウォーキングラリー形式での見学会を開催することで、井原（鍋谷城）の歴史文化を楽しみながら沢山の人に周知してもらい、町おこしにつなげる。また、現在登山道はあるが、獣道化しつつあり、手摺りや階段も整備されておらず、年寄りや子供の見学には不向きであるため、整備や修繕することで幅広い世代の見学者を増やしたい。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。）	鍋谷城の登山道などの整備により、ウォーキングラリー形式での見学会を開催したことで、鍋谷城を中心とした史跡巡りを通じて、井原の魅力をより広く紹介でき、新たないばらの魅力の再発見につながった。	

3 自主財源で実施した事業

特になし